

総務厚生常任委員会

子ども・子育て支援事業計画を策定

認定こども園など幼児期の教育や子育て支援の拡充をはかる

子ども・子育て支援新制度を推進するため本計画を策定。

●計画期間

平成27年度から平成31年度までの5年間

●施策目標

- ①子どもの「生きる力」の育成
- ②母と子の健康づくりの推進
- ③子育て家庭への支援の充実
- ④仕事と家庭の両立の推進
- ⑤子ども・子育てに配慮したまちづくり
- ⑥地域における子育て支援の充実
- ⑦次代の親の育成

質疑

委員 子育てなどコミュニティセンターを利用する内容もあるが連携や事業計画などの関連はどのようにするのか。

当局 コミュニティセンターを一つの場として、地域が主体となり多様な子育ての取り組みの可能性ができた。町としても地域政策の中で取り入れていく考えでいる。

年々赤字幅が拡大

フラワー長井線の状況について
利用者はピーク時の半数以下まで減少。全体の7割を占める通学定期も、ピーク時の46%と大きく減少。荒砥駅前交流施設について今後の在り方を協議していく。



存続を願うフラワー長井線

その他

- ・第5次総合計画後期基本計画
 - ・第5次行財政改革大綱
 - ・ごみ処理基本計画
 - ・町立病院の経営状況
- についての説明があった。

産建文教常任委員会

更なる経営努力を

白鷹町アルカディア財団の中期経営計画を報告

計画書は平成24年度から26年度の実績状況及び今後見込まれる事柄を踏まえ、次の3年間の中期利益計画を策定することで、今後の財団の事業展開及び方向性を示すもの。

●中期計画における目標

- ①財務面 減価償却費計上前の黒字を確保する（平成29年度）
- ②営業面 財団の価値・魅力を表すキーワードを全員で再確認する。
- ③施設面 町の予算で改修しながら、飲食関係を中心にサービス提供能力をアップさせ売上増加につなげる。
- ④内部体制 専務理事（常勤の経営者）就任等により体制を強化していく。

質疑

委員 専務理事を置くに至った経過は。

当局 定款で置くことになってい

る。新規事業への参入や株式会社への検討については専門的な知識が必要なことや、常時経営を見ることが出来る人を置くべきとの判断で専務理事を置くに至った。



県内屈指のコースとなる（ふるさと森林公園パークゴルフ場）

その他

- ・白鷹都市計画用途地域の変更
 - ・白鷹町住生活基本計画
 - ・学校統合の準備状況
 - ・スクールバス運行業務の民間委託
 - ・学校給食共同調理場業務民間委託
 - ・白鷹町文化交流センター管理運営
 - ・フラワー長井線の状況等
- についての説明があった。